

資料提供	
平成25年6月27日	
担当課 (担当者)	技術企画課 (安本・田代)
電話	0857-26-7368

鳥取沿岸の砂浜海岸復元・港内堆砂抑制に向けた技術検討委員会（第2回）の開催

本県では、美しい砂浜海岸を保全・回復させるため、平成17年6月に全国初の取組として構造物を設置しないで土砂の流れの連続性を確保する対応策（サンドリサイクルやサンドバイパス）を基本原則とした「鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」を策定し、同ガイドラインに基づき国・県・市町村等の各管理者が連携・協力して、従来方式の局所最適化から脱却した取組みを行い現在に至っています。

しかし、現在のサンドリサイクルやサンドバイパスは、重機や浚渫船で堆積砂を掘削し、陸上運搬又は海上運搬して、侵食箇所へ投入するという方法であり、毎年、多くの予算を費やしている上、効果的な代替策の検討が進んでいない状況です。

このため、現下の厳しい経済財政状況に配慮したコストパフォーマンスの良い技術・工法の開発・導入に向けた検討が必要とされています。

そこで、新たなサンドリサイクルやサンドバイパスの手法及び再生可能エネルギーの活用に関する技術的な情報を広く収集し、鳥取県の地域特性に適合した手法の開発・導入を目的として、下記のとおり技術検討委員会を開催します。

記

- 1 日時 7月3日（水） 午後1時30分～午後4時00分（予定）
- 2 場所 岩美町役場 3階 大会議室（岩美郡岩美町浦富 675-1 電話：0857-73-1562）
- 3 委員長 松原 雄平（鳥取大学大学院工学研究科 教授）（海岸工学）
- 4 委員 宇多 高明（一般財団法人土木研究センター 常務理事）（海岸工学）
栗山 善昭（独立行政法人港湾空港技術研究所 特別研究官）（海岸工学）
佐藤 慎司（東京大学大学院工学系研究科 教授）（海岸工学）
山崎 貴之（環境省近畿地方環境事業所浦富自然保護官事務所 自然保護官）（環境）
和田 年史（鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館 主任学芸員）（環境）
廣谷 幸人（岩美町産業建設課 課長）（地元）

※分野、氏名 50音順。

- 5 オブザーバー 黒岩 正光（鳥取大学大学院工学研究科 准教授）
澁谷 容子（京都大学防災研究所 特任助教）
野口 仁志（独立行政法人港湾空港技術研究所 客員研究官）

6 内容（予定）

- (1) 第1回検討委員会の結果概要（平成24年11月7日開催）
- (2) 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス（静岡県）の進捗状況
- (3) 新技術・新工法等の技術検討に係る事項別の進捗状況
- (4) 簡易な移動機構を用いたサンドリサイクル・サンドバイパスの試験施工
- (5) ヌーサ・メイン・ビーチ（オーストラリア）の現地調査結果
- (6) 鳥取沿岸における再生可能エネルギー（特に、風力発電）の動向
- (7) 砂浜海岸の人為的改変が生物の生息環境に与える影響

7 その他

- (1) 委員会開催に先立ち、同技術委員会委員による簡易な移動機構を用いたサンドリサイクル・サンドバイパス試験施工の現地見学会を開催します。
時間：午前9時15分～
場所：陸上海岸（陸上川河口付近） ※場所については別添地図を参照
- (2) 委員会終了後、ホームページに資料を掲示します。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=205366>
（とりネットの技術企画課のページからアクセスできます。）

簡易な移動装置によるサンドバイパス試験工事 施工現場位置図



- 兵庫県から
- - - → 東浜駅から
- 鳥取市から

至 岩美町市街

至 兵庫県

(信号交差点)
東浜居組道路入口

平成 25 年 6 月 14 日(金)↓↓↓



平成 25 年 6 月 20 日(木)↓↓↓



平成 25 年 6 月 25 日(火)↓↓↓

